学校番号	２０２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	―						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・色彩や形態の捉え方を学んだうえで、様々な素材や表現に触れ自己の表現力の向上を目指す創作活動を行います。
・美術がいかに生活と密着しているものかを知り、新たな気づきや探究が表現に繋がることを留意し学習を進めます。
・作品完成後は鑑賞シートを用い、振り返りと他者との共有を行います。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、芸術的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の様々な美や美の伝統文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】美の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、画力の向上を図り、自分らしく表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】美術のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や文化の意味や価値を考え、美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術の伝統と文化に親しみ、美を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・画家や作品への理解を深めるとともに、どのような背景や文脈で生まれたかを調べ、自身の作品制作に活かせている。（知） ・形や色彩、造形的特徴を捉え主題に沿った表現活動が行えている。（技） ・素材や用具の特性を活かす工夫をしている。（技）	・指示されたものをただ取り組むのではなく自分だけの表現を探究し、創作活動に活かせている。 ・他者の作品の良さに触れ、自分の作品への客観的視点が養えている。	・新たな気づきや視点を積極的に制作に取り組めている。 ・前回の作品の振り返りを新しい作品に生かせている。 ・新しい技術や材料を試し、自分の制作スタイルを拡大し、意欲的な制作に繋げられている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	知（a）	思（b）	主（c）
1学期	平面・色彩構成の基本	【デザイン】・ ・教科書を用いて色彩についての基礎を学ぶ	a ・プリントワークと小テスト ・色彩の基本を理解し制作に生かせている ・緻密で丁寧な作業ができている	プリントワーク 小テスト 提出作品	取り組み状況	ワークシート
		・三原色を用いた色彩構成（色相環・デザイン画）	b ・自分らしさの探究ができている 他者の作品のよさを感じ取り、表現への理解を深めることができている		提出作品	提出作品 振り返りシート
		・レタリング	c 合評や鑑賞の際、振り返りシートで主体性を持って意見交換等、活動できている	アイデアスケッチ 試作・提出作品 振り返りシート	提出作品 相互評価シート	振り返りシート
	アートに触れよう！	【鑑賞】 日本や世界の美術作品を鑑賞し、クイズとして学習する。 一人作家を選び、レポートを作成し、発表する。			ポートフォリオ	

2学期	お菓子のパッケージを描こう	【絵画】【鑑賞】 1対象の設定と鑑賞 混色の基本を学習し、使用するパッケージに必要な色を分析する。 2構想を練る 構図や配色を考えアイデアスケッチを行う 3制作 表現方法を創意工夫し創造的に表す 4鑑賞 合評を行い自身の作品について発表しあう	a アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している b ・造形的な見方・考え方を働かせて感じたことや考えた事を創造的に表現できている ・他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り表現への理解を深め等れている c アイデアスケッチや試作を何度も行い創造的な表現に結び付けられている 合評での意見交換や発表に積極的に取り組めている	プリントワーク アイデアスケッチ プリント 提出作品 アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	取り組み状況 提出作品 取り組み状況 制作途中の作品 提出作品 合評シート	振り返りシート アイデアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート
	にぼしをつくろう	【絵画】【工芸】 1本物のにぼしを観察しながらスケッチを行う 2制作 ・紙粘土を使用し本物そのままのサイズで立体的につくる ・アクリル絵の具を使い水彩の画法で着彩する 4振り返りシートを記入する	bしっかりと対象物と向き合い細部までよく描きこめている a スケッチで発見したことを大切に紙粘土で細部まで再現すできている c　制作を通して何を学んだかを言語化できている	制作途中の作品	アイデアスケッチ	振り返りシート

3学期	伝統工芸に触れよう 起き上がりこぼしを作ろう	【工芸】【デザイン】 【鑑賞】【映像メディア表現】 １主題の設定 起き上がりこぼしの文化や歴史に触れる。 日本の工芸、伝統的な美術について学習する。 小さな子供が喜ぶデザインを調べる。 ２構想を練る アイデアスケッチをもとに完成イメージを広げ構想を練る。 ３制作 新聞紙を用いた伝統的な手法で形作っていく。 デザインを描き込み着彩を行う。 ４鑑賞 過去の作品すべてを使用しポートフォリオを映像作品にして制作する。 合評を行い自身の作品について発表しあう	a ・新聞紙などの材料の性質を理解し全体のイメージを捉えながら作業できている ・緻密な作業ができている b ・造形的な見方・考え方を働かせて感じ取ったことや考えた事を創造的に表現出来ている。 ・対象が喜ぶデザインを深く調べ表現に生かせている ・他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り表現への理解を深められている c アイデアスケッチや試作を何度も行い創造的な表現に結び付けられている 合評での意見交換や発表に積極的に取り組めている	アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品 合評シート	取り組み状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度